



2022年8月12日

各 位

会 社 名 J ト ラ ス ト 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 澤 信 義  
( コ ー ド 8 5 0 8 ス タ ン ダ ー ド 市 場 )  
問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員 経 理 部 長 小 田 克 幸  
電 話 番 号 0 3 - 4 3 3 0 - 9 1 0 0

### 業績予想の修正及びその他の収益の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	営業収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	71,300	5,500	7,000	4,600	40.34
今回修正予想(B)	79,000	13,000	16,000	12,000	105.24
増減額(B-A)	7,700	7,500	9,000	7,400	
増減率(%)	10.8	136.4	128.6	160.9	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	42,325	5,260	5,899	1,123	10.61

#### 2. 修正理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、本日公表いたしました「2022年12月期第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）」において、詳細を説明しているとおり、当社の主要事業である金融事業の業績が当初の予想を上回って、好調に推移しております。特に、東南アジア金融事業におきまして、PT Bank JTrust Indonesia Tbk.の業績が改善し、当初の計画よりも前倒しで、黒字化を実現していることが、業績の拡大に貢献しております。また、韓国及びモンゴル金融事業や日本金融事業も順調に業績を伸ばしております。

加えて、Nexus Bank株式会社（以下、「Nexus Bank」といいます。）との株式交換にあたり、負ののれん発生益を計上したことを主な要因として、営業収益、営業利益、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益とも前回予想を上回って推移することが見込まれます。

このような予想を上回る業績の状況を反映させ、さらに今後も、安定した収益拡大が見込まれることから、前回予想を上回る見込みとなったため、今回、通期連結業績予想につきまして全ての項目で上方修正することといたしました。

なお、当社グループが2022年3月31日付けで株式取得済みのエイチ・エス証券株式会社（2022年10月1日付けで「Jトラストグローバル証券株式会社」に商号変更予定）が行っている金融商品取引業の業績は、経済情勢及び市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、通常の業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。このような状況下において当該金融商品取引業を含めて業績予想を開示することは投資家等に誤認を与える恐れがあるため、当社グループは当該金融商品取引業を除いた業績予想の開示を行うことといたします。

### 3. その他の収益及び繰延税金費用の計上について

2022年12月期第2四半期連結累計期間において、Nexus Bankとの株式交換にあたり、国際財務報告基準（IFRS）第3号「企業結合」に従い取得法による会計処理を行った結果、連結財務諸表上、負ののれん発生益7,576百万円をその他の収益に計上しております。また、JT親愛貯蓄銀行株式会社の留保利益に対する繰延税金負債553百万円を法人税等調整額に計上しております。

（注）上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

以 上